

# 道標

新年度がスタートして、あっという間に2週間がすぎました。学力検査も一段落して授業も本格的に始まっています。昨年度と比べて授業を受ける態度はどうか、どの授業の内容も、一度しか受けられない貴重な授業です。真剣に受けられるといいですね。

さて、進路通信『道標(みちしるべ)』では、進路決定のための情報や、今どのようなことに取り組めばよいのかなど、この一年を充実させるために必要な情報を提供していきたいと考えています。進路についての情報を見逃さない、聞きのがさないようにしていきましょう。

## 進路選択に向けて

進路を選択するとき、大切なことは何でしょうか。

自分をよく知ることが大切です。具体的には、興味・関心、個性、能力、健康状態や家族の考えなど自分をとりまくいろいろな条件や環境について慎重に考えてみるということです。それらの条件にあった職業を考え、その職業に就くには中学校卒業後どのような上級学校で何を学んだらよいのかなど、自分で調べたり、聞いたりする積極的な姿勢や意欲が必要です。

毎日の生活をしっかりと送ることが大切です。規則正しい生活習慣、身の回りの整理整頓など、生活をしっかりと送っている人は、自主的・意欲的に学習できる人です。毎日の努力の積み重ねが大きな成果を生み出します。長いようで短い中学校生活、自分に厳しく、一日一日を有意義に過ごしていきたいですね。

学力をつけることが大切です。授業に真剣に取り組み、家庭学習にも毎日取り組みましょう。平日は3時間、休日は5時間以上の学習が必要であると言われます。自分の生活を見直し、学習時間を確保しましょう。また、学習のやり方も大切です。まとめ学習中心ではなく、問題を多く解くなど、学習方法を試して自分のスタイルを見つけることが大切です。

卒業した先輩たちから、「もっと勉強しておけばよかった。」「早くから取り組んでおけばよかった」という声が、毎年多く聞こえます。後悔のない進路選択のために、次のことに取り組みましょう。

1. 配付されたプリントは、その日のうちに確実に保護者の方に渡しましょう。  
⇒ 進路に関する大切なプリントが多くなります。その他のプリントもその日のうちに保護者に渡す習慣をつけましょう。
2. 提出物は期限内に余裕をもって提出しましょう。  
⇒ 1人の提出が遅れると全体に迷惑がかかります。提出期限ではなく、2日ほど余裕を持って提出しましょう。不備があったときにも落ち着いて対処できます。
3. 自分勝手な判断はせず、必ず確認しましょう。  
⇒ 「たぶん~だろう」「これで大丈夫だろう」というように自分の都合だけで判断せず、確認することで大きな間違いが防げます。わからないことや困ったことは必ず保護者の方や先生方に相談しましょう。

## 3学年オリエンテーションの内容

令和6年度入学者選抜は、私立高等学校が1月下旬から(高校によって異なる)、公立高等学校が3月5日・6日(県内の公立は同じ日、同じ問題)です。

○ これからの1年の計画を立てましょう。

<u>4~6月 基礎学力の充実期</u>	家庭学習の習慣をつける
<u>7・8月 不得意科目の克服期</u>	三者面談、高校一日体験入学
<u>9~12月 応用力の養成期</u>	三者面談(志望校確定)
<u>1~3月 総合的な力の完成期</u>	試験・面接・作文等の対策



○ 推薦入試について

推薦入試は一般入試より早く、1月中旬から高専・私立・公立高校の順で行われます。推薦入試選考基準は、「基本的生活習慣が確立しており、志望学科の学習に適應できる者」となっています。高校から高校紹介があったり、自分で希望したりしても、隼人中の生徒として選考基準に満たない生徒は推薦できません。中学校が「推薦委員会」を開き、校長先生の責任で推薦する人を決定します。まずは自分の生活や授業の態度、提出物など、学力と人間力を磨きましょう。

部活動の紹介をする高校の先生のほとんどが、まずはその競技の話よりも「勉強や学校生活をきちんとしてほしい」「社会でも通用する人間になってほしい」といった話をされます。

高い運動能力や学力だけではなく、人としての総合力がある人は、高校の部活動やその他でも活躍できることを高校の先生が一番わかっていらっしゃるのです。